

入院診療計画書 化学療法導入(薬剤名:シスプラチン、アリムタ)

氏名
患者番号

主治医名
看護師名
作成日

2枚目に続きます

日付	入院当日(day0)	抗癌剤投与当日・入院1日目(day1)	入院2日目(day2)	入院3日目(day3)	入院4日目(day4)
目標	嘔気・嘔吐のコントロールができています				
	拒絶反応の症状・所見がない				
	入院生活について理解できる				
	治療について理解できる				
水分出納に問題がない					
血管炎の症状・所見がない					
投薬	持参されたお薬、お薬手帳を薬剤師が確認します	抗がん剤投与前に吐き気止めの薬を服用します ビタミン剤を服用します	朝食後、吐き気止め、ビタミン剤を服用します	朝食後、吐き気止め、ビタミン剤を服用します	ビタミン剤を服用します
注射	腎臓の保護のための点滴を行います(6時間)	抗癌剤、副作用を緩和する点滴を行います(12時間)	吐き気予防、腎保護のための点滴を行います(4.5時間)	吐き気予防、腎保護のための点滴を行います(4.5時間)	
検査	胸のレントゲン検査、血液検査があります				血液検査があります。
食事	特に制限はありません。 抗癌剤投与後、食欲が低下した時は栄養士への相談も行えます。また、医師の許可があれば持ち込み食も可能です。その際は看護師にお声かけ下さい。 特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし				
排泄	入院後から、尿を計量します。カップで計量後に表に記載してください。カップは所定の場所に廃棄して下さい	前日24時間の尿・便回数を確認します。尿量測定を継続します。排泄後はトイレの水を2回流してください。男性の方は飛沫が飛ばないように座って排泄してください			前日24時間の尿・便回数を確認します。尿量測定を継続します。
清潔	熱がなければ入浴して頂いてもかまいません。	点滴中は入浴できません。必要に応じて清拭の援助を行います	点滴終了後、医師の許可があれば入浴できます 入浴できない場合は、温タオルでの清拭となります(出来ない部分は援助します)		
安静度	特に制限はありません	抗癌剤を点滴中はなるべく腕を動かさないように安静にしてください	点滴中は安静にお過ごし下さい 点滴終了後は、特に制限はありません		制限はありません
観察項目	身長と体重を測定します	起床後に体重を測定してください。 抗癌剤投与当日はじんま疹、呼吸困難、冷汗、動悸などを観察します。これらが見られた場合は投与を中断することがあります。 抗癌剤が血管外に漏れると炎症を起こすため、血管の状態を観察します 投与後1週間は食欲減退、悪心、吐き気・嘔吐、しゃっくりなどが起こりやすくなります。	起床後に体重を測定してください 下記の症状を認めた場合はお知らせください ・湿疹や痒み、食欲不振、吐き気、嘔吐、しゃっくり ・吐き気、嘔吐、食欲不振、口内炎 ・抗癌剤を投与した腕に痛みや痒み、発赤などがある ・むくみ、はれぼったい感じ(特に足や手) ・便秘、下痢		
確認事項	ネームバンドを着用します 病室、ベッド枕元に名札を掲示します(支障のある方はお申し出下さい)。 入院診療計画書(この書類)をお渡しします。 入院に必要な書類を提出していただきます。				
看護ケア	病棟・入院生活の説明を行います 入院時、午後、就眠前に検温を行います 入院前の状況に合わせて移送方法を検討します 履物は出来るだけ、スリッパではないもの、安定感のあるものをお勧めします 自宅とは異なる環境のため、安全に入院生活がおくれるようにつとめます ベッド柵は3か所に設置します。床頭台、ベッド周囲の環境を整えます 薬剤師より抗癌剤の説明があります。入院時に薬剤師からの説明がない場合は翌日になります。	起床時、午前、午後、就眠前に検温を行います 抗癌剤を投与してから15分間は看護師が付き添い、アレレギー等の副作用が無いか観察します。 看護師から、点滴の予定や副作用について説明します 抗癌剤投与後1週間は食欲減退、悪心、吐き気・嘔吐、しゃっくりなどが起こりやすくなります。症状に応じて緩和する薬を使用します。 便秘になりやすいため、普段の排便リズムに近くなるよう緩下剤を使用します。	起床時、午前、午後、就眠前に検温を行います 抗癌剤投与後1週間は食欲減退、悪心、吐き気・嘔吐、しゃっくりなどが起こりやすくなります。症状に応じて緩和する薬を使用します。 便秘になりやすいため、普段の排便リズムに近くなるよう緩下剤を使用します。		

※患者様の状態により内容の変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください

横須賀共済病院 (2016.8)

上記のとおり説明を受けました

年 月 日 同意者署名

本人 その他 続柄()

入院診療計画書 化学療法導入(薬剤名:シスプラチン、アリムタ)

氏名
患者番号

主治医名
看護師名
作成日

日付	入院5日目(day5)	入院6日目(day6)	入院7日目(day7)	入院8日目(day8)・退院日
目標	嘔気・嘔吐のコントロールができています 自己管理ができる			
	水分出納に問題がない 血管炎の症状・所見がない			
投薬	ビタミン剤の服用を継続します(3週間)			
注射				
検査	 血液検査があります。			
食事	 特に制限はありません。 抗癌剤投与後、食欲が低下した時は栄養士への相談も行えます。また、医師の許可があれば持ち込み食も可能です。その際は看護師にお声かけ下さい。		 特に制限はありません 食欲不振があるときは、一時的に偏るような食事内容でもかまいませんので食べられるものを、できるだけ多く摂って下さい。水分はこまめに摂ってください。 少量で高カロリーの栄養補助食品もご検討下さい	
排泄	 前日24時間の尿・便回数を確認します。 尿量測定を継続します。		 前日24時間の尿・便回数を確認します。	
清潔	 検査結果確認後、医師の許可があれば入浴できます 入浴できない場合は、温タオルでの清拭となります(出来ない部分は援助します)		 医師の許可があれば(点滴前に)入浴できます 入浴できない場合は、温タオルでの清拭となります(出来ない部分は援助します)	
安静度	 制限はありません			
観察項目	 起床後に体重を測定してください 下記の症状を認めた場合はお知らせください ・湿疹や痒み、食欲不振、吐き気、嘔吐、しゃっくり ・抗癌剤を投与した腕に痛みや痒み、発赤などがある ・むくみ、はれぼったい感じ(特に足や手) ・吐き気、嘔吐、食欲不振、口内炎 ・便秘、下痢		 起床後に体重を測定してください 下記の症状を認めた場合はお知らせください ・湿疹や痒み、食欲不振、吐き気、嘔吐、しゃっくり ・むくみ、はれぼったい感じ(特に足や手) ・吐き気、嘔吐、食欲不振、口内炎 ・便秘、下痢 ・発熱、せき、たん	
確認事項	 午前中に入院費の請求書をお渡しします 支払確認後、必要書類、お薬をお渡しします ネームバンドを除去し、退院となります			
看護ケア	 起床時、午前、午後、就寝前に検温を行います 抗癌剤投与後1週間は食欲減退、悪心、吐き気・嘔吐、しゃっくりなどが起こりやすくなります。症状に応じて緩和する薬を使用します。 便秘になりやすいため、普段の排便リズムに近くなるよう緩下剤を使用します。 感染症にかかりやすい時期になりますのでトイレ後、食事の前の石鹸手洗い、起床時、日中、就寝前のうがい、1日に2回以上の歯磨きを行ってください。病室から出る時はマスクを着用してください。		 抗癌剤投与後、1週間程度すると骨髄抑制が出現しやすくなります。 感染症にかかりやすくなりますのでトイレ後、食事の前の石鹸手洗い、起床時、日中、就寝前のうがい、1日に2回以上の歯磨きを行ってください。外出時はマスクを着用してください 下記のような症状が出現したら病院に電話でご連絡ください(平日は呼吸器外科外来 夜間・休日は救急外来) ・発熱(37.5度以上)、せき、痰、寒気、のどの痛み、排尿時の痛み、下痢(白血球減少による感染症が疑われます) ・血が止まりにくい、あざができやすい(血小板減少が疑われます。このような症状がある場合は鼻を強くかまない、身体をぶついたりケガをしない、排便時に強くいきまないように注意してください) ・立ち上がった時にめまいがする、顔色が悪い、動いた時に息切れしやすい(赤血球減少が疑われます。このような症状がある場合は医師に確認の上、できるだけ安静にしてください) 他に ・手足のしびれが生じることがあります。薬剤師からのパンフレットの対応をとっていただき、次回の診察日にご相談ください	

※患者様の状態により内容の変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください

横須賀共済病院 (2016.8)

上記のとおり説明を受けました

年 月 日

同意者署名

本人 その他 続柄()